

扶桑昔廟最初

防府天満宮

佐加太利とは御鎮座地天神山の古来名「酒垂山」からとったものです

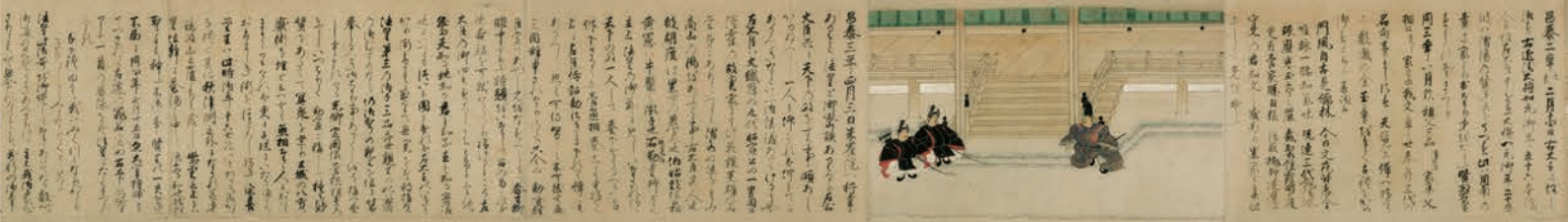
# 佐加太利

平成30年  
秋冬号  
102号



## 目次

- |       |   |
|-------|---|
| 12    | 初詣・新春祭事案内                                   |
| 11・10 | 社務所だより<br>天神様の夏から秋〜日誌抄〜                     |
| 9     | 崇敬会だより<br>結婚おめでとう<br>ひたぶる                   |
| 8     | — 古老が語る —<br>天神様と私 (2)<br>「天神様」と共に<br>生活す一年 |
| 7・6   | 松崎天神縁起絵巻研究会<br>第11回をおえて                     |
| 5・4   | 維新一五〇年特集 (3)<br>維新と白石呉服店                    |
| 3     | 祝 敬神婦人会創立<br>45周年を迎えて                       |
| 2     | 巻頭言   |
| 1     | 点描<br>御神幸祭浜殿神事<br>(菅公御着船の地、<br>勝間の浦にて)      |



第一巻 13m10cm

第二巻 14m30cm

第三巻 13m80cm

第四巻 12m12cm

第五巻 13m31cm

第六巻 9m20cm



奉祝

天皇陛下御在位三十年

維新一五〇年に想う

宮司 鈴木宏明

天皇陛下におかれましては御即位され三十年の佳節をお迎えになられましたこと心よりお慶びを申し上げます。この間、地震など大規模災害の被災者へのお励ましや、また先の大戦で亡くなられた方々への追悼や遺族へのおいたわりなど、常に国民と歩みをともにされ、国の安泰と国民の幸福、諸外国との友好を祈ってこられました。お蔭をもちまして私たち国民はそのお心に導かれ、日本人として幸せな生活を戴いていることにこの上ない有難さを感じております。益々の御皇室の弥栄をこ祈念申し上げます。

\*\*\*\*\*

さて本年は「維新一五〇年」という節目の年でもあります。山口県では奉祝の「山口ゆめ花博」が開催され多くの来場者で賑わいました。

維新といえは天神信仰を持つ高杉晋作や奇兵隊といった志士たちが活躍した動乱の時代を思い浮かべますが、明治と改元され「これあたり維新」なる世になったものの、天満宮にとっては維新の反動ともいえる波濤が押し寄せた多難の時代でありました。

仏教伝来より、神は仏の権現である、という神仏混淆こんぶうの思想の下に、神社でも神官と僧侶が共に奉仕するという時代が続きました。それが明治の国の政策により神仏分離令が発せられ、神社から仏教を排除、僧侶は還俗するか下野するか迫られました。その結果、当宮においても僧侶の粗暴により九つあった社坊の内八つの社坊は他人に渡り大専坊が一つ残るのみとなり、境内地の管理も手薄となり、天満宮は経済的にも窮地に立たされました。しかし、動乱の維新前夜にあっても、明治の多難の中にあっても寛弘元年（一〇〇四）勅使降祭より続く「道真公に無実を知らせる祭り」御神幸祭は変わることなく連綿と盛大に斎行されてまいりました。

百五十年前の「維新」という大きな時代の変換期も、防府の天神信仰が人々の精神の支えとなり乗り越えてくることができたのではないのでしょうか。

※本ページの天地に掲載した（重文）松崎天神縁起絵巻は、全六巻計約75メートルにおよびます。本号ではその  の部分を紹介しています。

第一巻 13m10cm

第二巻 14m30cm

第三巻 13m80cm

第四巻 12m12cm

第五巻 13m31cm

第六巻 9m20cm





▲平成30年宮地獄神社正式参拝。毎年仲良く研修旅行に行っています。



▲総会風景。久しぶりに会員の皆様に会うとつい会話が弾んでしまいます。

私たち防府天満宮敬神婦人会は、神社での奉仕活動を通して日本の麗しい伝統と文化、また敬神崇祖の気持ちを含め、神様やご祖先に、自然に・そして共に生きる人々に感謝する心をご家庭にお持ち帰り頂き、家庭を円満にし地域に貢献していくことを目的に活動しています。お蔭をもちましてその活動も四十五周年を迎えることができました。これも偏に会員皆様のご協力とこれまでの天満宮のご指導の賜と感謝しております。

現在、各地区の部長さんのお声掛けの下、会員は二百名を数えています。県下でも最も大きい敬神婦人会ですが、共通の課題として若い方の入会が少なくなっているのが問題の一つになっています。最近では若いお母さんもお勤めの方が多いようで忙しくされておられ、二の足を踏んでおられる方も多く感じています。

「奉仕活動」というと何だか大変そうですが、私たちは出来ることを出来るように、楽しく会員同士和気あいあいと活動しています。ですから活動後には「また頑張ろうね」ってみんな笑顔で帰って行かれます。一人での入会は気後れしてしまうかもしれませんが、会員のお母さんとお嬢さんとか、サークルの仲間や近所の仲良しグループで敬神婦人会のお仲間に入って頂ければと願っております。

そして五十周年に向けて更に活発で楽しめる敬神婦人会を目指して活動を続けていきたいと思っておりますので、会員の皆様、天満宮様宜しくお願い申し上げます。

**\*主な活動\***

- \* 2月 梅まつりでの甘酒接待
- \* 5月 幸せます花回廊花がら摘み総会
- \* 6月 梅ちぎり七夕飾りの制作
- \* 12月 すず払い
- \* 祭典・行事に併せて抹茶接待
- \* 年1回の研修旅行

年会費：500円

祝  
敬神婦人会創立  
45周年を迎えて

会長 鈴木典子



▼梅まつり無料甘酒接待。大人も子どもも喜んで飲んでくれます。



▼会員で作成した七夕飾り。インスタ映えます。



# 維新と白石呉服店

## はじめに

幕末の防府天満宮門前は、山陽道と萩往還が重複し多くの志士達が往来、そのお陰で宮市の商人達は志士達とも深い交流が生まれました。その商人の一人に創業明和二年（一七六五）の白石呉服店の六代目・民之助



▲白石家住宅。(南側外観) 今年 11 月 2 日に主屋・呉服蔵・道具蔵及び食物蔵が国の登録有形文化財に登録された

助がおります。金銭的に陰ながら志士達を支えた同店の逸話や、維新となり武士でなくなってしまうた志士達との関係、また、その後の同店の繁栄について現十代目・白石民彦氏にお話を伺いました。

## 「大石の間」の由来



▲外から望む「大石の間」

六代目民之助の六男「白石六郎」は、奇兵隊に入隊していました。奇兵隊の軍備増強や志士達の接遇に際しての寄付を集め、もちろん本家からも寄付を工面するなどして隊の中でも活躍しておりましたが、残念ながら戦死してしまいました。総督の高杉晋作は、六郎を偲び、「大いに貢献した白石を今後は大石と呼ぼう」と彼を「大石六郎」と名付け、主屋の客室に「大石大神」を祀りました。それを後世に伝えようと民之助はその部屋を「大石の間」と名付けました。維新後は、

白石呉服店を訪ねてきた元志士達は彼を偲びその部屋に宿泊したりもしていました。

この部屋は幕末の逸話として今も白石家に伝わっています。

## 「伊藤忠兵衛」との出会い

伊藤忠兵衛は、「伊藤忠商事」と「丸紅」の創業者です。近江国の「紅長」という太物（綿織物・麻織物の総称）問屋の次男として生まれました。僅か十五歳にして麻布を携え、大阪を経由して泉州や紀州に持ち下り（出張販売）を初めて行いました。翌年には九州まで持ち下りをし、その途中に当店を訪れたのです。

同じ品物を扱う者同士として意気投合したのか、当店を起点にして販路を広げていきました。しかし、幕末になると長州征伐などの戦が始まり、それまで往来のあった多くの商人もなかなか当地へ足を運べないでいました。そんな中、忠兵衛は「戦があるときこそ必要だろう」と考え、危険を顧みず長州にやって来たのです。ただ、近江から長州にくる商人なので、「あいつは幕府の密偵ではないか？」との疑いをかけられたそうです。そこで民之助は忠兵衛を一時匿い、お蔭で忠兵衛は難を逃れ命拾いしたのです。維新後も忠兵衛との親交は続き、二代目忠兵衛は白石呉服店で修行した



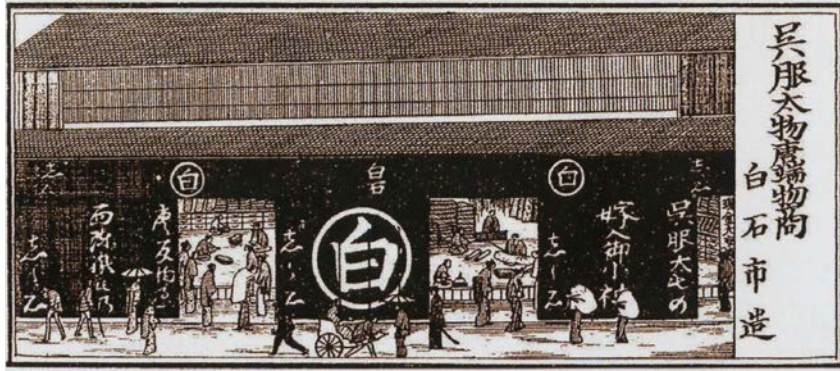
▲当宮大石段上にある伊藤忠兵衛の奉賛を記した玉垣

そうです。

明治三十五年（一九〇二）の防府天満宮千年式年大祭記念事業に際しては、忠兵衛は民之助を通じて金百圓を奉賛しています。また、戦後白石家の八代目・民造は、丸紅の全国取引先組織「親紅会」の会長を長年務めるなど、初代忠兵衛からの交流が続きました。

## 「武士でなくなった志士達に」

明治を迎え、多くの志士達は武士では生活できなくなり困窮します。そこで、彼らは民之助に用立てをお願いしてきたのです。志士達はただ用立てをして貰うのではなく、代わりに槍や鉄砲等を納めたのでした。中には奇兵隊の旗もあつたようです。また、刀の中には竹光もあつたようですが、そんな彼らに民之助は敬意をもって接し、用立てをしたのです。命をかけて尊皇攘夷に突き進んだ志士達を武士でなくなたその後も支援したのでした。



▲明治19年頃（1886）発行「山口県下巨豪商早見便覧」掲載の白石呉服店

その沢山の刀や槍・鉄砲は、戦時中の供出で

総て国に納められました。

## 「伊藤博文公」との秘話

伊藤博文公は、明治三十二年五月から六月にかけて西日本に遊説に出掛け、ここ防府にも立ち寄りました。歓迎会も催された天満宮の春風楼前で記念写真を撮りました（九十号社報で紹介）。実はこの伊藤公遊説には秘話がありました。



伊藤公は宮市の豪商らには個別で記念写真に応じ、その見返りとして満州鉄道の株券を買わせたのです。事実、七代目・民之助もその一人で、数枚の株券だけが今でも残っております。その七代目・民之助は、貴族院高額納税者名鑑に記載されています。

## 「白石家家訓」

昭和三十年、店舗と洋館が全焼した際、当時二歳だった十代目・民彦は、布団にくるま

- 昭和三十年、店舗と洋館が全焼した際、当時二歳だった十代目・民彦は、布団にくるま
- 白石精神
- 一、禮儀ヲ重シ至誠謙讓ヲ旨トスベシ
  - 一、己ニ克チ和協一心ヲ念トスベシ
  - 一、任務ニ忠実ニ常ニ責任ヲ全フスベシ
  - 一、向上ヲ念トシ公明正大ヲ期スベシ
  - 一、意志ヲ強固ニ質素儉約ヲ圖ルベシ

▲白石家家訓(写真は一部)は冊子にされ、社員教育に使用された

れながら避難したそうです。その火災で当家に伝わる貴重な史料が焼失してしまいましたが、家訓は難を逃れ今に伝わっています。家訓には、「一人に対しての礼

儀」、「組織の中では一致協力」、「与えられた任務は忠実に」等、商品を守るものとしての心構えが記されています。この家訓を守ることにより白石呉服店は創業以来繁栄し、幕末には志士達を敬い、支援し、陰ながら維新を支えたのではないのでしょうか？

## おわりに

十代目・民彦氏は「平成二十七年に創業二百五十年を迎えることができ、皆様と共に祖先にも大変感謝致しております。今後とも「日本のきもの文化」の担い手として次世代へ引き継ぐべく、家訓を胸に一層の精進をする覚悟です」とおっしゃっています。



▲白石家住宅北側（旧山陽道沿）にある現在の白石呉服店店舗

# 松崎天神縁起絵巻研究会第11回をおえて

重要文化財 松崎天神縁起絵巻  
応長元年（一三二一）に作成された六巻からなる絵巻で、第一巻～五巻は道真公の生涯やご利益話が描かれているが、第六巻に防府天満宮創建に関する独自の話があり、当地絵巻の魁と言われる。

## ●第1回 平成25年2月23日

朝賀浩先生（文化庁文化財部美術学芸課文化財調査官（絵画・指導官））

「国宝指定にむけて現状の確認と今後の方針」

岡本麻美先生（山口県立美術館学芸員）

「先行諸本・修理を踏まえての発見など」

## ●第2回 平成25年8月31日

相澤正彦先生（成城大学教授）

「松崎天神縁起と法然上人絵伝との類似画風について」

佐多芳彦先生（立正大学准教授）

「『松崎天神縁起絵巻』の有識故実」

## ●第3回 平成26年2月15日

鈴木幸人先生（北海道大学准教授）

「天神在地縁起に関する諸問題」

橋本遼太先生（大阪大学大学院生）

「絵巻諸作例の奥書について」

岡泰央先生（株式会社岡墨光堂代表取締役）

「装こう修理と中世絵巻の料紙について」

## ●第4回 平成26年8月30日

竹居明男先生（同志社大学教授）

「天神信仰について」

土屋貴裕先生（東京国立博物館研究員）

「松崎天神縁起絵と弘安本天神縁起絵」

## ●第5回 平成27年2月14日

真木隆行先生（山口大学准教授）

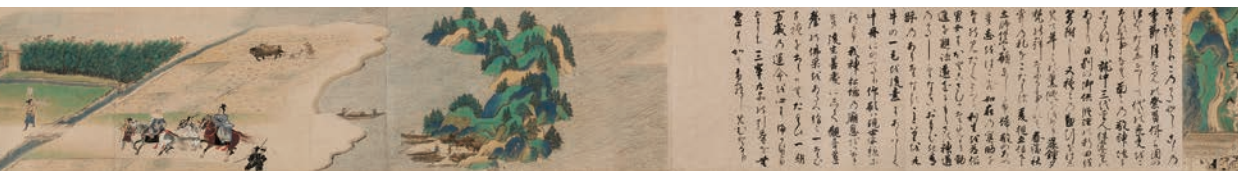
「中世の防府天満宮とその変容」

松浦清先生（大阪工業大学准教授）

「防府天満宮所蔵の〈三季天神像〉について」

鈴木幸人先生（北海道大学准教授）

「京都・吉祥院天満宮所蔵十二幅本天神縁起絵について」



## 松崎天神縁起絵巻研究会のこれまで



北海道大学 准教授 鈴木幸人

この研究会は、松崎天神縁起絵巻（重要文化財、以下松崎本）のさらなる価値を見出すこと、文化史、絵画史、天神信仰史におけるあらためての位置づけをめざして企画されてきました。前提になる近年の経過としては、長年の懸案であった絵巻修理が平成十八年度から二十二年度に文化庁の助成も受けて行われ、その完成記念として平成二十三年十一月に山口県立美術館「防府天満宮展」で全巻が公開され話題を呼びました。併せて天満宮歴史館の整備がなされ、それまで防府天満宮と東京・京都の国立博物館に別れて保管されてきた松崎本は全六巻が本来の奉納場所である防府天満宮に常に揃うこととなりました。

周知のように松崎本は鎌倉期の弘安本系天神縁起の完本であるばかりでなく、周防国での説話や創建縁起をくわえる、天神在地縁起を含む初期の例であること、室町時代に精巧な複本が作られるなど、制作や伝来の状況を今日まで伝えるもので、数多い天神縁起絵の中でも、京都北野天満宮根本縁起（国宝）とともにとくに貴重な作例とされ早くに重要文化財指定を受けています。

修理事業や展覧会を契機に、さらに研究を進めたいという目標のもと鈴木宮司を会長として、朝賀浩氏らを中心に六年間にわたって十一回の研究会をもちました。参加者は五十六人に上り、毎回全国各地から防府に集結して（一回は京都で開催）研究成果を披歴し新たな知見を共有する場となっています。これまでの研究会を振り返れば、松崎本の位置づけをめぐって、私見ながらいく

●第6回 平成27年8月29日

味酒安則先生（太宰府天満宮禰宜）

「菅公、防府・太宰府への道」

松原茂先生（根津美術館学芸部長）

「松崎天神縁起絵巻の詞書について」

●第7回 平成28年2月13日

富島義幸先生（京都大学准教授）

「松崎天神縁起の建築表現について」

高岸輝先生（東京大学准教授）

「中世後期における縁起絵巻の再生と松崎天神縁起絵巻」

鈴木幸人先生（北海道大学准教授）

「金沢・崇禎寺所蔵天神縁起絵巻二点について」

●第8回 平成29年8月27日

若杉準治先生（京都国立博物館名誉館員）

「鎌倉絵巻の中の松崎天神縁起」

西山剛先生（京都文化博物館学芸員）

「天神縁起絵巻を用いた祭礼の復元的考察」

高島幸次先生（大阪天満宮文化研究所研究員／大阪大学招聘教授）

「天神伝承と天神縁起絵巻について」

●第9回 平成29年2月18日

松川博一先生（九州歴史資料館学芸員）

「菅原道真公が見た太宰府―文献史学と考古学の成果から―」

瀬谷愛先生（東京国立博物館研究員）

「鎌倉時代の周防国と松崎天神縁起絵巻」

●第10回 平成29年7月28日

城市真理子先生（広島市立大学准教授）

「松崎天神縁起に見る唐絵・漢画の要素」

味酒安則先生（太宰府天満宮禰宜）

「新発見の掛け幅天神縁起絵巻の紹介」

●第11回 平成30年2月17日

吉瀬勝康先生（元防府市文化財課長）

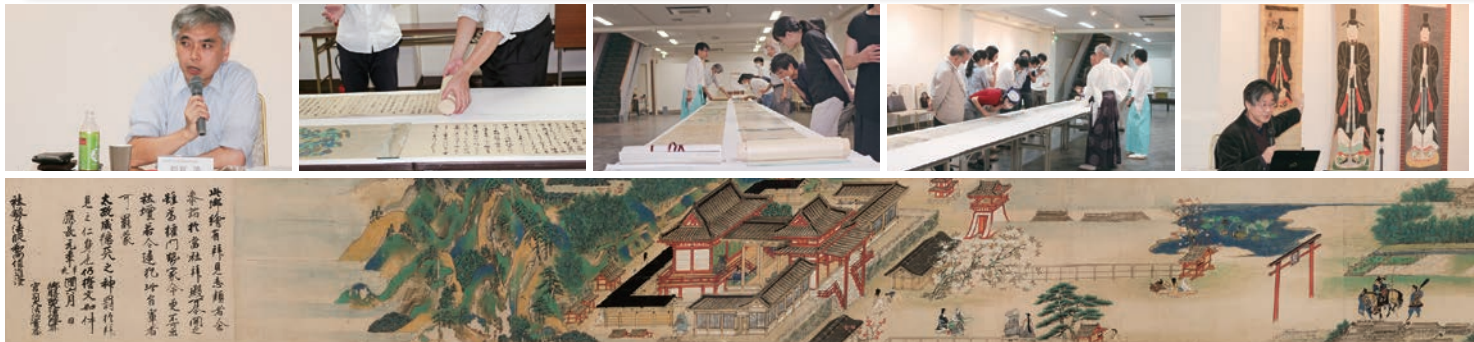
「中世前期の防府の景観」

岩井共二先生（奈良国立博物館学芸員）

「周防地方の宗教文化」



講師（発表者）の肩書は当時のものです。



## 松崎天神縁起絵巻シンポジウム開催

防府天満宮が所蔵する松崎天神縁起絵巻。その歴史的・文化的価値を再確認するべく研究会を行ってまいりました。この度、研究発表で明らかになった絵巻の多彩な魅力を皆様にご覧いただきたくシンポジウムを開催いたします。

防府、そして日本の宝である松崎天神縁起絵巻の真髄をおみせ致します。

**日時** 平成31年3月2日(土) 13:00~17:00

**会場** アスプラート（防府市戎町1-28）

**料金** 無料（未就学児童は入場をお断りさせていただきます）

**主催** 防府天満宮松崎天神縁起絵巻研究会

- 「私と天神様（仮）」作家 高樹のぶ子先生
- 「地図屋が見る絵巻」遠藤宏之氏（地図情報コンサルタント）
- 研究発表 根津美術館 学芸主任 松原茂、京都大学 准教授 富島義幸、  
（敬称略） 立正大学 准教授 佐多芳彦、(株) 岡墨光堂 代表取締役 岡岩太郎、  
元同志社大学 教授 竹居明男、元防府市文化財課 課長 吉瀬勝康
- パネルディスカッション

つかの視座が見えてきます。絵巻様式の詳細な分析（描かれる有職故実や建築、描き記す絵画や詞書の分析）、社寺縁起絵巻の中の松崎本、地域史の中の松崎本（天神縁起諸本との比較、防府の景観や周防国の地域史、宗教文化史との関連）。これらが相俟って天神信仰史における防府や在地縁起の位置づけが検討され、それは同時に普遍的な問題へ広がるというふうには、松崎本をめぐって活発な議論が続けられています。こうした検討や議論を呼び起こすことこそ、松崎本の尽きぬ魅力を伝えて余りあると思われませんが、来る三月二日には、研究会の成果を踏まえた公開シンポジウムが計画されております。これを機に松崎本天神縁起絵巻と防府という地との結びつきをあらためて知っていただきたく存じております。

# 「『天神様』と共に生活す一年」

敬神婦人会副会長 宮内登代子 (大正十五年生まれ)



終戦後、家族と共に外地から防府に引き揚げて来た私達は、住む場所にも不自由する生活でした。そんな中、私の父と天満宮の宮司様との御縁があり私達一家は天満宮の社宅の一角に住まわせて頂く事になりました。これが私と「天神様」との大きな関わりの始まりでした。社宅に住む以上お宮の仕事をする事になり、当時まだ独身の私に白羽の矢が立ちました。戦後初の巫女さんの誕生です。もちろん巫女は私一人で神社の事など訳も分からず、それでも一生懸命にご奉仕しました。その甲斐あってか昭和二十四年に結婚、嫁入り先はなんと表参道に面した家でした。当時は参道の両側に家が何件もあり、すぐ隣には寿会館という結婚式場や旅館・映画館・写真館・スナックもありました。

家を一步出たらそこは天神様です。また「天神様」と共に新生活が始まったのです。正月が過ぎるとすぐ節分、夏祭り、花神子社参式と行事が続きます。そして秋には天満宮最大のお祭りである御神幸祭裸坊祭がやってきます。

\*\*\*

祭りの約一週間前になると参道に大賑が上がり、その頃から表参道も人通りが多く、急に忙しくなってきます。道行く人もそわそわし始めてるように感じ、防府の街全体が熱気を帯びてきます。商売をされる方は天神祭での売り上げと、それ以外の一年間の売り上げが同じくらいになると聞きました。通りの家では家が壊されないように、裸坊避けの柵や板が張られていました。うちは家が二階建



▲昭和 45 年の裸坊祭。御網代の御神幸を拝する宮内邸の見物人 (写真右上)

てだったため、観覧席を設け祭り当日には沢山の見物人が詰めかけ、席料を頂くなどしていました。多い時は四十〜五十人もの方が家に上がり込んでいて一晩で一か月分の給料くらいの実入りがあったと思います。見物人は広島の方が多かったように記憶しています。臨時列車やバスが出て、市外からもたくさんのお客さんが来られたものです。街中では振る舞い酒があつたり、裸坊姿だと映画館が無い酒があつたりしていました。屋台も防府駅から天満宮まで軒を連ね、境内にはサーカスや見世物小屋もありました。

サーカス小屋からは球体の中をクルクル回る勇ましいバイクの音や、見世物小屋からは「親の因果が子に報い〜」の口上が一日中聞こえていました。当時はまだ傷痍軍人さんが何人も物乞いをしていて、気の毒に思ったものです。ご発輩前になると屋台は急いで店じまいをします。当時はもつと荒祭りでしたのでお店を壊されないようにするためです。その為、女子供は外に出るなと言われていました。そのうちに参道はあつという間に白装束の裸坊で埋め尽くされ「兄弟わっしょい」の掛け声の中にお神輿や何頭もの馬が並ぶ様は壮観でした。昔は出発が遅く、午後九時頃の出発だったと思います。そうするとお帰りは午前零時頃になり、そのまま泊まっていく人もいていつも徹夜でお世話をしたものです。裸坊祭が終わると今はもう見なくなりましたが正月飾りやしめ縄を売る屋台が出て、新年を迎える準備が始まります。

時が来れば必ず行われる祭り、私はその祭により季節を感じ祭りを生活の一部として天神様と過ごして来ました。九十を過ぎた今でも敬神婦人会の一員として、元気に「天神様」のお世話が出来る事を心より感謝しています。



# 崇敬会だより

## 「御大礼」記念事業実施

当会では、来年の御代替りに際し平成の御代に感謝と敬意を表し、来る御代をお喜び申し上げようと「御大礼」記念事業を遂行する運びとなりました。



当会は常に天満宮の御稜威が長く広く崇敬者に届くように活動していますが、この佳時に天満宮の幣殿・拜殿の「調度品の新調」をさせて頂くことに致しました。又、「金箔六角燈籠」の献灯、更には普公を称える和歌に天満宮を彩る花の絵と共に額装する「普公百人一首奉納」を崇敬者会員に募り実施しています。特に「普公百人一首」の額装については、選定保存技術保持者で日本画家の馬場良治先生の書画揮毫のご奉仕により奉納されることになっております。天神様の御光を更に強く感じ戴けるものと考えております。

事業完成披露期日は新元号二年五月一日の予定です。

### 御大礼とは？

天皇の即位に関わる一連の儀式の総称  
会員以外の方でご賛同下さる方は事務局へお問い合わせ下さい。

また本会では会員を募集しております。この機会に是非お仲間入りをお待ちしております。

### ●第十一回研修旅行のご案内

来る、平成三十一年二月十九日〜二十日に実施致します。今回は防府天満宮崇敬会ならではの京都方面の旅を企画しており、北野天満宮正式参拝予定です。

### 新規会員紹介

平成三十年五月二日以降入会の方々です。(敬称略)

特別会員 池本美和 山陽小野田市

家族会員 荒井利晃 周南市上下

谷川徹二 宇部市風呂ヶ迫町

中島俊泰 防府市高井

西村 恵 美祢市大嶺町

渋谷 正 防府市栄町

松原良次 山口市大内氷上

宮正武宣 防府市奈美

個人会員 石満益一 大島郡周防大島町

久保梨絵子 兵庫県三田市

福長敏枝 山口市鑄銭司

長廣鈴子 防府市伊佐江

※崇敬会入会ご希望の方は、同封の崇敬会のすめをご覧下さい。

## ご結婚おめでとう

|               |           |        |                      |
|---------------|-----------|--------|----------------------|
| 平成30年<br>6月9日 | 田中 亮・真由美  | 7日     | 野村 和生・えり             |
| 23日           | 端野 亮太・糸那  | 13日    | 末松 知也・裕里             |
| 17日           | 梅田 久義・友美  | 20日    | 藤本 巨・利枝              |
| 23日           | 官野 真生・あや  | 21日    | 久保 亮介・典子             |
| 7月1日          | 岩田 晋・由加子  | 27日    | 古田 真史・静香             |
| 2日            | 高村 一成・里奈  | 18日    | アレクサンダーベンチ<br>ヤック・優花 |
| 8日            | 杉岡 裕敏・沙織  | 11月17日 | 松永 憲治・愛              |
| 8日            | 小林 剛士・麻美  | 18日    | 白石 真章・あゆみ            |
| 15日           | 津田 良介・佳菜子 | 23日    | 松富 恭三・絵莉             |
| 21日           | 吉末 直也・裕美  | 23日    | 木村 雄・雅美              |
| 8月12日         | 金子 敏史・直美  | 23日    | 園田 健太郎・真衣            |
| 9月2日          | 青木 佑太・佳香  | 12月9日  | 永富 洋平・愛              |
| 8日            | 富村 崇・圭恵   | 23日    | 吉村 勉・美佐子             |
| 23日           | 水野 翔・晶子   | 23日    | 森田 芳宏・恵美子            |
| 10月6日         | 藤本 卓・綾子   | 23日    | 工藤 笙太・実穂子            |
|               | 島田 徹・綾乃   |        | 横山 健輔・奈実             |

お二人の末永いお幸せをお祈り致します

※神前結婚式のお申込みは随時受付ておりますので、社務所へお問い合わせ下さい。

## ひたぶる

先日、東京への出張時、偶然できた空き時間に都内の神社へ参拝することができました。その神社では、祈願料やお賽銭を電子マネーやクレジットカードで納められる」と記されていました。ニュースでは耳にしていました。が、現実には目の当たりにすると大変衝撃を受けました。

しかし、この衝撃、よくよく考えてみると長い神社の歴史の中で同じような事があったと気づきました。それは神様へのお供え物が「初穂」から「初穂料」に変化した事です。みごとに社

頭の風景が一変したことでしょう。

現在の私達は神社にお金をお供えする事に違和感はありません。きつと当時、「お米」でなく「お金」を捧げることに違和感を覚えた多くの人達も、時間と共に大切な価値ある物を神様に捧げるという点で受け入れられたのではないのでしょうか。

近い将来、「電子マネー・クレジットカードでお願います」とのやりとりが、神社の日常の光景となる時代が来るかもしれません。

権禰宜 越智宣彰

# 社務所だより

## 梅ちぎり

と当宮敬神婦人会五十名がご奉仕致しました。園児たちは巫女さん「この梅大きいよ」など、楽しそうに一生涯懸命ご奉仕してました。



が行われました。市内の双葉幼稚園・保育園園児二十三名

## 秋の「幸せます」花回廊

が大石段に登場。山口ゆめ花博の開催に協賛し設置。



▲オープニングセレモニーテープカット  
(左より、  
防府観光コンベンション協会羽嶋会長、  
池田防府市長、防府商工会議所喜多村会頭、  
松村防府市長、高橋欄宜)

## 日誌抄 (平成三十年)

- 毎月1日、15日、25日は月次祭  
毎1日は朔日詣り(朝粥念、毎月25日は天神市(縁日)・茶会)
- 7月1日〜7月15日 筆まつり七夕書道展  
1日 梅ちぎり(双葉幼稚園保育園、敬神婦人会奉仕)  
2日 菅公みらい塾(於大専坊)  
3日 新総代就任奉告祭  
22日 佐波中学校生徒2名職場体験  
22日 佐波中学校牛乳パック灯籠作  
22日 YIC看護福祉専門学校牛乳パック灯籠作  
成  
24日 広島県市神田神社氏子青年会31名様正式参拝 総代会  
敬神婦人会七夕飾り作成奉仕  
25日 月次茶会煎茶三葵亭賣茶流清月会園貞喜雲社中ご奉仕  
28日 YIC看護福祉専門学校牛乳パック灯籠作成  
夏越神事・大祓式・お田植祭  
7月1日〜7日 七夕まつり(期間中夜間光の斎庭(牛乳パック灯籠・傘玉アート))  
1日 筆祭並び七夕書道展奉告式、光る風船で天の川、種村強様・角川書店様正式参拝  
2日 七夕参拝笹飾り奉納(松崎地区母子保健推進協議会様・佐波幼稚園様・多々良幼稚園様・瑞祥幼稚園様・松崎幼稚園様)  
7日 七夕参拝笹飾り奉納(双葉幼稚園様)  
7日 七夕祈願祭、山口の日本酒酒造まつり、P.O.H.H. (P.O.H.H.)で七夕祭りオリジナルTシャツを作ろう!七夕茶会(参集殿、ひこほし★おりひめコンサート、光る風船を持って歩こう、天神芸術村  
奉納清書展二次審査会  
梅の土用干し開始  
新総代就任奉告祭  
天神囃子おはやし合宿  
25日 月次茶会表流華松会ご奉仕  
22日 防府天満宮神社関係者連絡協議会  
20日 回廊内ミスト噴射器設置  
17日 御誕辰祭(夏祭り)万灯の夕べ・ピアガール祭  
15日 万灯祭・奉納清書奉告祭並び同展奉告式  
15日 剣道大会・子供博みこし(中止)・カラオケ大会  
15日 防府天太鼓奉納演奏・大茶碗茶会  
15日 山本百次会御奉仕  
4日 豊穰祈願祭・夫婦円満祈願祭・柔道大会・遠的弓道大会・古武道大会・浴衣&歌謡コンサート  
5日 御誕辰祭当日祭・大花火大会・和太鼓奉納演奏・クラブを楽しもう・少年剣道大会・都山流尺八楽範山会邦楽コンサート(茶室)  
7日 花火大会会場奉仕(マツダ防府工場、ユニクロ、お伽衆、青年部若梅会)  
9日 月次茶会煎茶専心小笠原流山口県中部支部ご奉仕、お頼み会  
11日 式典保存委員会  
11日 お手廻り保存会宣誓式  
11日 出雲大社教第一教区13名様正式参拝  
11日 鈴虫放生祭(大専坊)  
11日 お籤上げ神事、第三十九回防府天満宮杯将棋名人戦  
11日 福井県敦賀市気比神宮司福本祐喜様正式参拝  
14日 防府天満宮勝ち牛杯氏子対抗ゴルフ大会  
14日 天神おんな神輿めぐましテレビ出演

# 天神様の夏から秋

天神様から「幸せます」  
※幸せますは山口の方言で「ありがたい」とか「嬉しく思う」との意味があります。

清掃奉仕  
ご奉仕ありがとうございました。

- 7月21日 松崎佐波地区子供会約500名様  
8月6日 マツダ(株)防府工場、(株)プリジストン防府工場、防府商工高校、高川学園、社会福祉協議会、お伽衆、防府街商組合

- 9月25日 栄町老人クラブ40名様  
10月25日 共進町老人クラブ12名様  
11月11日 (株)イオス20名様  
11月25日 マツダ(株)防府工場  
11月26日 澤田建設(株)、防府街商組合

奉納品  
ご奉納ありがとうございました。  
林隆雄様

12月5日 千支の御柱 (P.12掲載)  
林隆雄様

## 七夕まつり



# 花神子社参式

(御神幸祭の無事成  
功を祈る祭)



大行司役  
藤井徳夫氏



小行司役  
清水基治氏



花神子役  
青木はな乃さん

今年馬の手配が難航

理由として、

お世話人の高齢化で所有者の減少、西日本豪雨災害で厩舎が被害に遭うなどした為、花神子社参式は十頭から四頭、御神幸祭は十二頭から六頭に減らしてのご奉仕となりました。関係各位には大変ご迷惑をお掛け致しました。



## 新総代・役員就任のご紹介

(敬称略)

氏子総代

安村竹史  
有本哲朗

六月三日付  
六月三日付

山根耕太郎

六月三日付

上田和男

六月三日付

高須洋

七月二十日付

崇敬者総代

石井一郎  
下野行雄

九月十五日付  
十二月六日付

宜しくお願致します。

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 31282523201817151211<br>日 日 日 日 日 日 日 日                                       | 5 1 26<br>日 日 日   | 2524232219181616<br>日 日 日 日 日 日 日 日   | 1514121010<br>日 日 日 日 日 日   | 9 3 5<br>日 日 日  | 5 日   | 11月 2 31<br>日 日 日   | 292925<br>日 日 日   | 2822<br>日 日   | 212018<br>日 日 日   | 1413 7<br>日 日 日   | 10月 4<br>日  | 10月 2 30282726<br>日 日 日 日 日 日 日 日   | 262524<br>日 日 日   | 231815<br>日 日 日   |
| 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) | 破魔矢奉装始<br>御神幸祭(裸坊祭)<br>御神幸祭(前夜祭)<br>御神幸祭(神上式・天神おんな神輿奉納・防府邦楽舞・踊連盟奉納邦楽演奏会(演舞場)) |

## 巫女神楽舞研修



を大専坊において四日間行い、講師には、神社音楽協会会長先崎徑子先生をお招きしご指導頂きました。

## TOPICS 私達に見覚えありませんか?



**バレーボールセルビア女子代表4名参拝 (9月26日)**  
平成28年より防府市がセルビア共和国バレー男女チームのホストタウンとして国の登録を受け、スポーツや文化など同国と様々な交流を行っています。この日は2018世界バレー出場を前に防府で合宿。その折来宮され、茶室芳松庵では日本の伝統文化に興味津々。この直後開催された「2018女子世界選手権」では、お抹茶パワーで見事優勝を果たしました。今後益々のご活躍をお祈りいたします。

# 初詣のご案内



▲干支の御柱  
表参道に来年2月10日まで設置。  
平成三十一年の干支は十二支最後の「亥」です。古来より干支はその年の守り神と言い伝えられています。

新年に幸せを願う

防府天満宮に

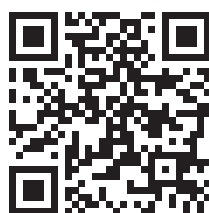
ご参拝下さいますよう

ご案内申し上げます



## 交通規制について

元日から三日まで当宮周辺は交通規制があります。  
詳細と正月お店情報は、同封の「防府天満宮初詣おもてなしMAP」もしくは左記QRコードを携帯電話・スマートフォンのカメラで読み取ってください。



## 平成31年 新春の祭事行事

貞宮遙拝式 一月十一日 午前十時より  
七草粥の会 一月七日 午前六時三十分より  
歳旦祭 一月一日 午前三時より



▲弓始式 1月14日 午後1時より



▲鉦始式 1月5日 午後3時より



▲梅まつり  
2月17日～3月3日(2月下旬から3月上旬がみごろ)



▲節分祭・牛替神事 2月2日・3日

さかたり第102号  
平成30年12月25日発行

発行所 防府天満宮社務所

〒747-0029山口県防府市松崎町14-1  
TEL 0835-23-7700 FAX 0835-25-0001

防府天満宮

検索

facebook

twitter

Instagram